さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1
今回の部分月食が、「ほぼ皆既月食」なのはなぜですか。

……

……

問2
月食という天文現象に関係する３つの星はどれですか。
正しいものに〇を付けてください。

「　　」地球・火星・月

「　　」太陽・月・土星

「　　」太陽・地球・月

「　　」地球・月・金星

問3
次の漢字の読み方を書いてください。

・観望会「　　」

・撮　影「　　」

・好奇心「　　」

・双眼鏡「　　」

・輪　郭「　　」

・神秘的「　　」

「ほぼ皆既」親子歓声

県内でも輪郭くっきり

山梨県内の各地で19日夜、部分月食が観測された。今回の部分月食は月の直径の97・8％が地球の影に入る「ほぼ皆既」の月食。甲府市内では観望会が開かれ、訪れた家族連れらが神秘的な光景に見入っていた。

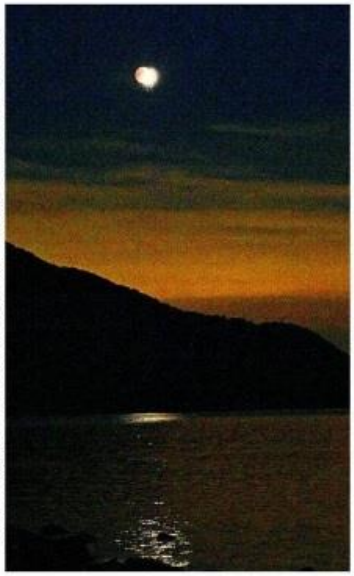
JR甲府駅北口よっちゃばれ広場では、一般社団法人「星つむぎの村」（北杜市）が観望会を開催。徐々に欠けていく月の姿を肉眼でも確認すると、子どもたちの歓声が上がった。午後6時2分ごろに食の最大を迎え、多くの人が天体望遠鏡や双眼鏡で月を観察したり、スマートフォンで撮影したりしていた。

家族3人で参加した甲府・相生南幼稚園年長の今福一葉ちゃん（6）は「赤茶色で欠けている月が見えた。不思議だった」と感想。同法人の跡部浩一さんは「子どもたちの好奇心や学びを支える機会になれば」と話していた。

一方、南部町の佐野峠付近からは富士山から昇る部分月食が見られた。数人の写真愛好家らがカメラを向け、盛んにシャッターを切っていた。岐阜県から訪れた男性（63）は「薄雲が掛かることもあったが、月の輪郭がはっきり見え、撮影もできて満足している」と話した。本栖湖畔からも薄い雲の向こう側に月が欠けていく様子が見えた。

次回の月食は2022年11月8日の皆既月食。

〈渡辺真希、広瀬徹、橘田俊也〉



雲の向こうに見える部分月食。湖面に月の明かりが反射して見えた＝本栖湖畔（19日午後5時半撮影）

望遠鏡で部分月食を観察する親子＝JR甲府駅北口よっちゃばれ広場

（2021年11月20日付 山梨日日新聞30面）

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.